『シートベルト着用の町』宣言する

九月十八日午後二時から町民会館大ホールに、町内各種団体、事業所関係者七十五名が出席、「シートベルト着用の町」を宣言しました。

交通事故をなくし、明るく豊かなくらしを守ることは、町民だれもの願いです。

しかし、交通事故はあとを断ちません。シートベルトを着用していれば、もし事故にあわれた時は、怪我を最少限に食い止めることができます。

「シートベルト着用の町」宣言を機会に〝車に乗ったらまずベルト〟に心がけましょう。

宣言文

交通事故をなくし、明るく豊かなくらしを守ることは、町民共通の願いであります。

光町でも交通事故の絶滅に努めてまいりましたが、交通事故は件数及び死傷者数とも昨年同期を大幅に上回って発生しており、きわめて憂慮される事態を迎えています。

このような事態をすみやかに打開するため、人命尊重の精神にもとずき、町民はもとより、広く町外からのドライバーにもその趣旨を訴え全町民の総力を結集して交通事故抑止に当たることを誓い、ここに「シートベルト着用の町」を宣言します。

昭和59年9月18日

光町交通安全対策協議会長
光町長　**馬場　幸太郎**

会議に出席、対策を考える皆さん

地震だ……

本番さながらの避難訓練

地震の静まりを机の下で待つ園児

九月一日は防災の日。

町内の学校や事業所でも、〝いざ〟という時に備えて防災訓練が行われました。

ここ、白浜保育園でも一日午前十時想定地震発生の放送で園児は一斉に防災頭巾をかぶり、机の下にもぐりました。園児は机の下でじっと息を殺して、先生の指示を待っていました。

その後、給食室付近から火災が発生の放送に、園児は口に手やハンカチを当て、園前、東側角に避難しました。

避難した後、先生が園児の点呼をとり、全員無事の確認をとりました。その間約三分…園児は夢中で訓練に取りくみました。

各家庭でも普段から防災について話し合いいざという時のために心掛けておきましょう。

口にハンカチを当て避難する園児